

予防接種・感染症危機管理対策専門委員会

(令和元年度)

予防接種・感染症危機管理対策専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 予防接種・感染症危機管理対策専門委員会

委員長 桑原 正雄

I. はじめに

令和元年度は感染症にとって極めて重要な年となった。令和2年1月初めに中国から報告された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、急速に世界に拡大して、1月15日には日本初、広島県内では3月7日に初めての感染者が確認された。未知の感染症の対応に広島県医師会担当役職員が奔走したために、広島県地対協予防接種・感染症危機管理対策専門委員会は年度計画を完遂できなかった。

なお、予防接種ワーキングについては、別途報告する。

1 広島県内の薬剤耐性菌サーベイランスモデル調査
抗菌薬耐性菌（AMR）の世界的な拡大、殊に多剤耐性菌の脅威に対して、G7伊勢志摩首脳宣言（平成28年）では積極的なAMR対策が採択された。議長国であった日本も2020年までのAMRアクションプランを閣議決定し、国民や医療者へ適正な行動を要請した。耐性菌の監視や抗菌薬削減もプランに掲げられ、地域での耐性菌削減や適正な抗菌薬使用が求められた。このためには、広島県、さらに県内各地域での耐性菌や使用抗菌薬を調査し、適正な抗菌薬選択に資することは極めて重要と考え、本委員会では県内の薬剤耐性菌サーベイランス調査を行うこととした。

従来、国の院内感染対策サーベイランス（JANIS）は平成12年から始まり、平成19年の改正医療法で院内感染対策のための体制確保が義務化されてJANIS参加病院が拡大してきた。この事業からは県民や医療者は耐性菌分離頻度などを国、県レベルで知ることができるが、県内地域での耐性菌分布などについてはフィードバックされていない。その後、前述のAMRアクションプランにより、サーベイランスの見直しについても検討されてきた。

他方で、県内の抗菌薬使用状況については、2005年から広島県病院薬剤師会が病院データを「AURサーベイランス事業」として継年的に収集解析しており、県内地域での抗菌薬使用密度（AUD）、抗菌薬投与日数（DOT）などを報告してきた（広島県病院薬剤師会誌 Vol. 53, 5, 2018）。この事業と地対協事業との相互連携も最終計画に予定している。

このように、広島県耐性菌サーベイランス事業からローカルアンチバイオグラムなどを示すことにより、地域での適正な抗菌薬選択が加速することが期待されるために早急に開始しようとしていたが、周囲の状況から検討に時間を要した。準備が整い、今年度からモデル事業の開始予定であったが、COVID-19のために開始できず、最終検討資料を報告して、次年度に繋ぐこととした。

なお、本モデル事業において使用する解析ソフト（IHOCS）は、開発した鳥取大学病院感染症科の千酌浩樹教授から無料提供を受け、指導をいただいている。

(1) モデル調査の実施要項（案）

1) 目的

地域の感染対策については、地域の医療機関全体において対策に取り組むことが重要である。広島県内の薬剤耐性菌サーベイランス（以下「本サーベイランス」という）は、県内の各医療機関が質の高い感染対策を実施することを支援するため、県内医療機関における薬剤耐性菌の分離状況および使用抗菌薬等に関する解析・評価及び情報を提供することを目的とする。本格的な調査を進めるにあたり、1年間の期間を設けてサーベイランスモデル調査を行う。

2) 実施主体

広島県地域保健対策協議会 予防接種・感染症危機管理対策専門委員会

3) 実施方法

本モデル調査への参加に同意する JANIS（厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業）参加医療機関は、施設還元データ（参加施設専用サイトよりダウンロード可能）を提出する。提出方法はファイルのメール添付にて行う。提出データのダウンロードと送付方法の詳細については別紙に記載した方法で行う。

解析データのフィードバックとして各菌種の検出率、感受性率などの施設経時変化と地域の耐性菌検出状況などを報告する。詳細については別紙に記載した。

4) 個人情報の保護

本サーベイランスによって得られたデータおよび解析評価情報については、参加医療機関における院内感染対策を支援する目的以外には使用しない。本サーベイランスについて、参加医療機関の名称は公開するが、個別の医療機関の特定を可能とするデータおよび解析評価情報は参加医療機関の了承を得ることなくこれを公開しない。

(2) モデル事業実施のための資料

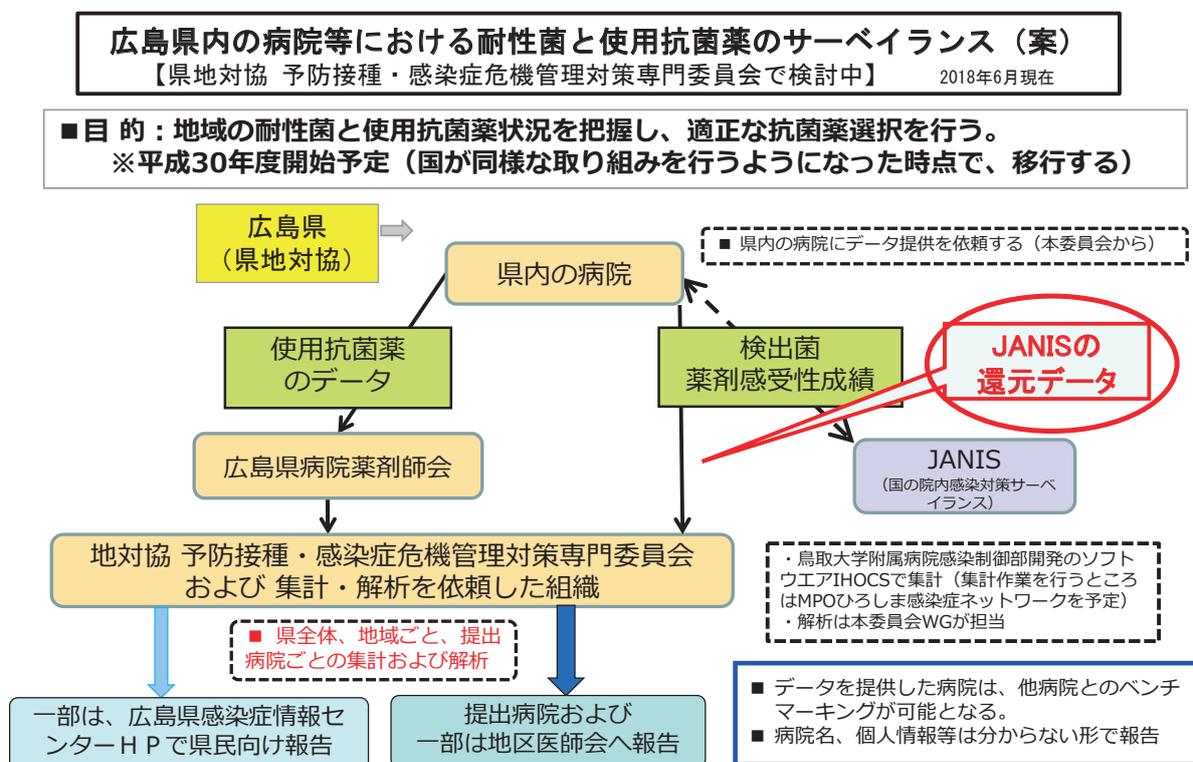
1) 本サーベイランスの全体像（桑原委員作図）

本サーベイランス事業の全体像を示している。モデル事業を開始し、その成果を検討し、本事業の参考にする。

2) JANIS 還元データの収集と還元（檜山委員作図）

JANIS 参加医療機関は細菌検査データを JANIS 事務局に定期的に届ける。JANIS で全国のデータを集約解析することにより、全国や参加自院が院内感染対策に活用することになる。届けた細菌検査データは、集計が済むと JANIS から還元データとして自院に返却されることになり、本委員会のサーベイランス事業はこのデータを医療機関の了解を得て、医療機関名を伏せて県内地域のデータとして、県民のため、県内医療者のために活用させていただこうとする計画である。近隣では鳥取県が同様な事業を開始しており、鳥取県事業のリーダーである鳥取大学病院感染症科千酌浩樹教授と意見交換を進めてきた。

解析データのフィードバック例を示したが、データが集まると種々の解析が可能であり、県内の AMR 対策に大きな効果を上げるだろう。



細菌検査データ

提出

- JANIS検査部門還元情報
- 還元情報の活用
- 提出データダウンロード方法
- データの形式
- データの提出

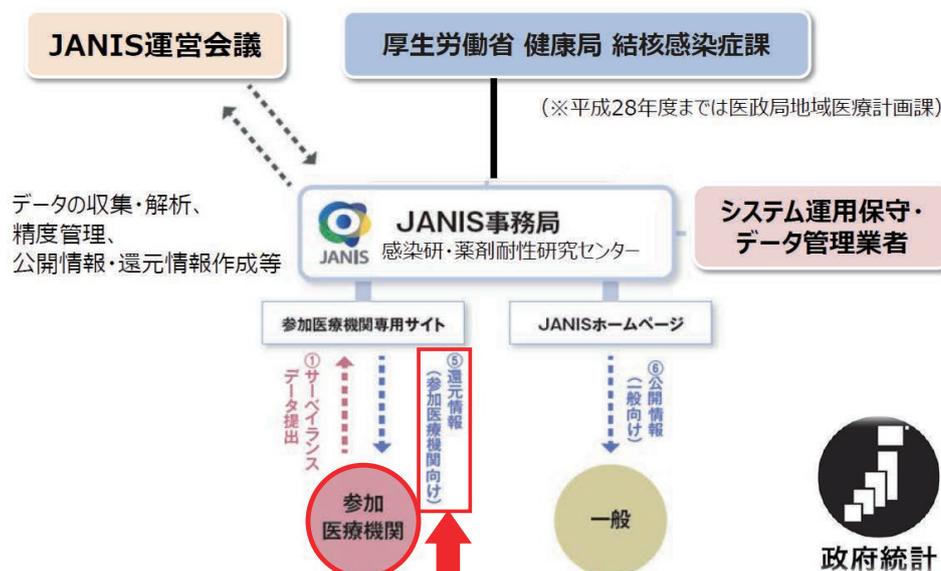
解析データ

- 解析データのフィードバック
 - 提出施設
 - 広島県・地域医療圏

JANIS検査部門還元情報



JANIS運営体制



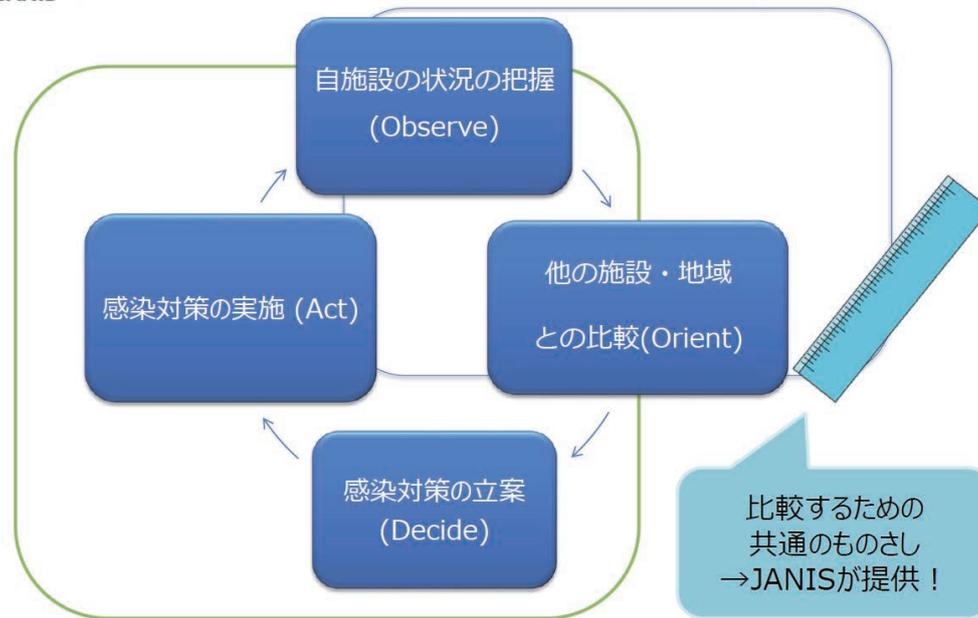
JANIS検査部門還元情報

Japan Nosocomial Infections Surveillance

還元情報の活用



サーベイランス→現場での活用



Japan Nosocomial Infections Surveillance

提出データダウンロード方法

JANIS検査部門参加施設 ログイン

参加医療機関専用サイト

還元情報ダウンロード

2019 年

現在JANISの検査結果の判定基準はJIS2012 (M100-S22) を用いています。
 • 研究ファイルやその他CSVファイルでの報告の判定基準は「施設固有判定基準」および「検査部門特定の施設別判定基準」に準じています。
 • CSVファイル「全データ」のMDC番号は、2018年3月20日以降に掲載されたデータより継承しております。

ZDCM-webの使い方は「こちら」

2DCM_WEB

月報							四半期報		
	PDF	CSV					PDF	CSV	
1	月報	施設別(月別)	主要菌(月別)	病原体	検査材料別	全データ	1-3		
2	月報	施設別(月別)	主要菌(月別)	病原体	検査材料別	全データ	4-6		
3	月報	施設別(月別)	主要菌(月別)	病原体	検査材料別	全データ	7-9		
4	月報	施設別(月別)	主要菌(月別)	病原体	検査材料別	全データ	10-12		
5	月報	施設別(月別)	主要菌(月別)	病原体	検査材料別	全データ			
6	月報	施設別(月別)	主要菌(月別)	病原体	検査材料別	全データ			
7	月報	施設別(月別)	主要菌(月別)	病原体	検査材料別	全データ			
8									

年報

PDF CSV

この「全データ」より提出データがダウンロードされます。

全データ CSV
340011201907.CSV
(施設番号+年月.CSV)

データの形式 JANIS検査部門還元情報月報全データCSV

ID	生年月日	年齢	性別区分	性別	入院外来区分	入院外来	入院外来日	病棟	診療科コード	診療科名	検体番号	検体提出日	検査材料コード	検査材料名	登録番号	菌名コード	菌名	項目名
10008739476	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				
10008739476	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				項目名
10008739476	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				ID
10008739476	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				10008739476
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				生年月日(西暦)
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				19491026
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				年齢
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				69
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				性別区分
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				F
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				性別
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				女
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				入院外来区分
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				1
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				外来
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				診療科コード
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				503
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				診療科名
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				眼科
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				検体番号
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				20190802008
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				検体提出日
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				20190802
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				検査材料コード
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				502
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				検査材料名
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				眼分泌液
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				登録番号
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				1
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				菌名コード
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				7001
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				菌名
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				Candida albicans
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				検査方法
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				
10009314162	19491026	69	F	女	1	外来			503	眼科	20190802008	20190802	502	眼分泌液				薬剤耐性パターン(*)

データ形式
検体は項目ごとに
左表の項目情報をもつCSVファイルとする

データの提出

全データCSV
3400111201907.CSV

ダウンロードしたデータをそのまま提出いただきます。



CSVファイルをmail添付にてNPO事務局へ提出



解析データのフィードバック

[提出施設]

- ◆ 検出件数が主な注目箇所となる情報（自施設の現状把握）
 - ・ MRSA検出件数
 - ・ CRE検出件数
 - ・ ESBL or AmpC疑い *E. coli* 検出件数
 - ・ ESBL疑い *K. pneumoniae* 検出件数
 - ・ ESBL疑い *K. oxytoca* 検出件数
 - ・ ESBL疑い *P. mirabilis* 検出件数

- ◆ 感受性率比較が主な注目箇所となる情報（他施設との比較）
 - ・ 緑膿菌など

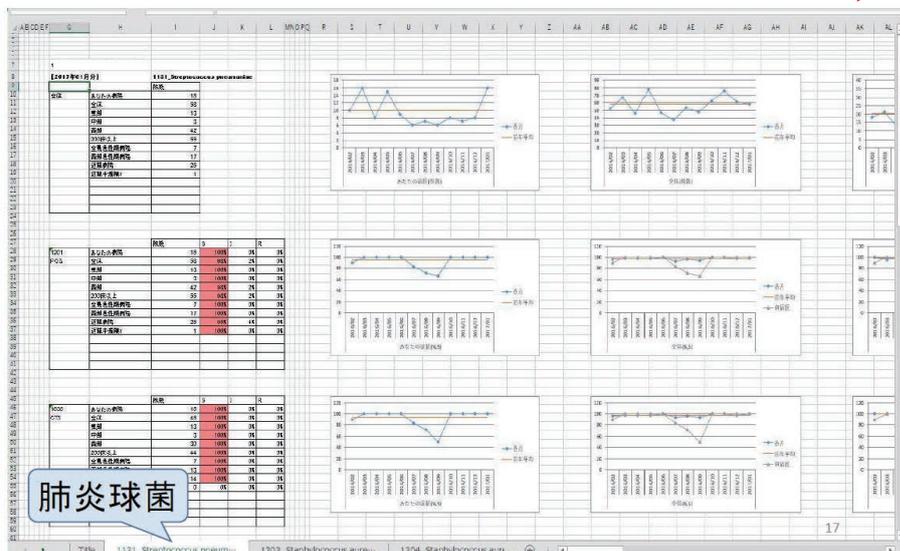
- ◆ グラフ全体を眺めて、自施設（青）の感受性率と他施設（灰色）の感受性率が乖離しているものに特に注目

解析データのフィードバック

[提出施設] IHOCS出カデータ (EXCELファイル)

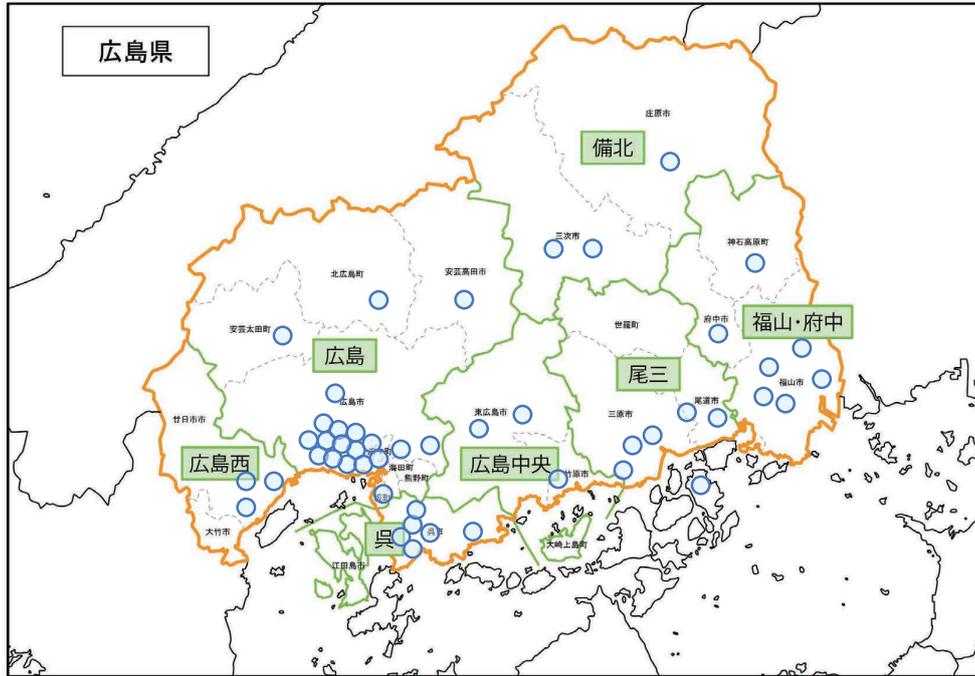
肺炎球菌の施設グループ別変化（検出変化・感受性率）

肺炎球菌の施設グループ別変化（各抗菌薬）



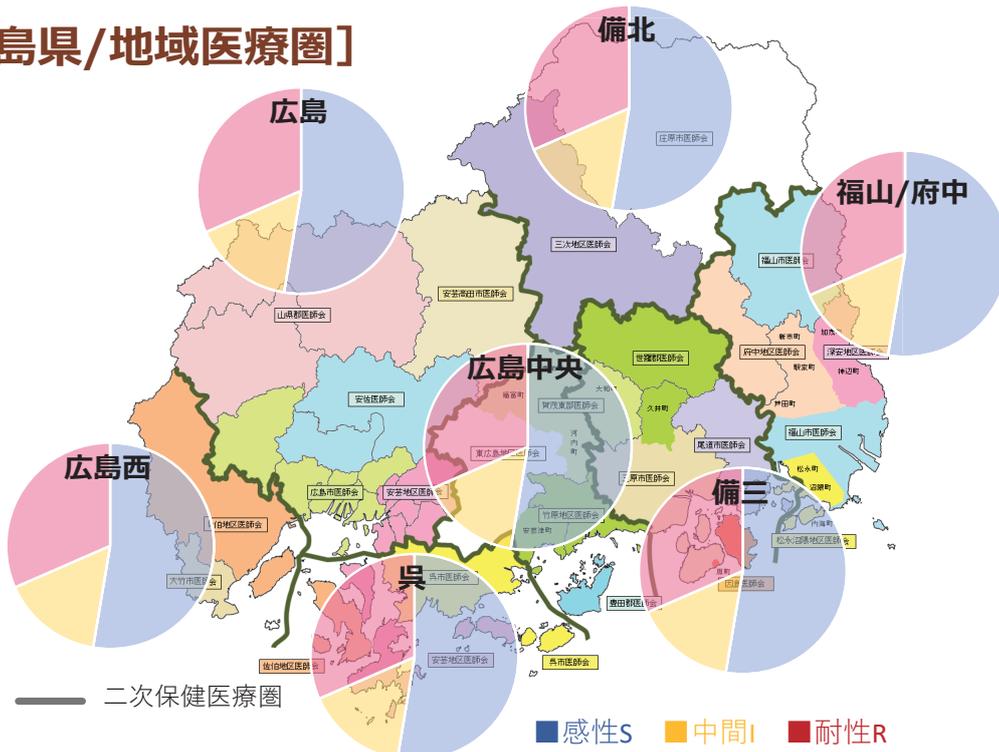
解析データのフィードバック

[広島県/地域医療圏] 参加施設



解析データのフィードバック (例1)

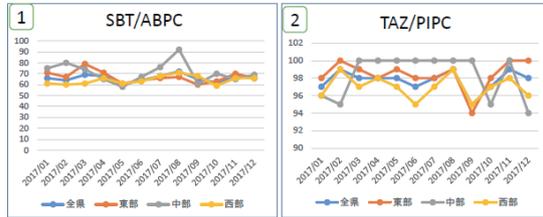
[広島県/地域医療圏]



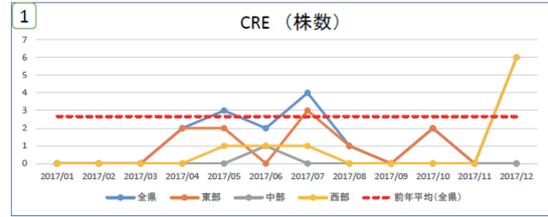
解析データのフィードバック（例2）

[広島県/地域医療圏]

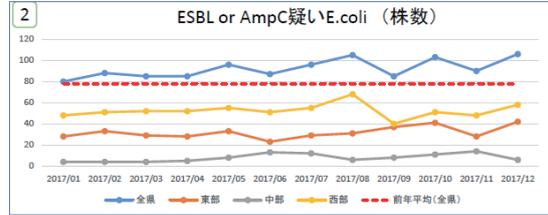
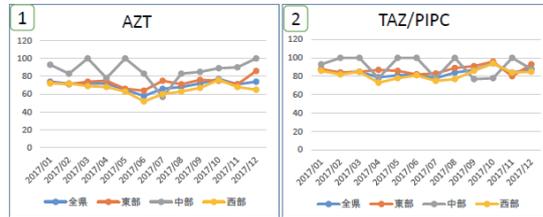
Escherichia coli



特殊パターン菌の検出状況(株数)



Pseudomonas aeruginosa



(3) 県内 JANIS（厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業）参加医療機関へ協力依頼
別紙にて、県内の JANIS 参加の 60 病院に依頼し、45 病院（令和元年 9 月 12 日現在）が参加の意向が示された。説明会を行い、年度内に JANIS データを収集する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の対応のために、今年度は本モデル事業を開始することができなかった。

2 会議と日程

1) 広島県地对協 予防接種・感染症危機管理対策専門委員会 薬剤耐性（AMR）対策 WG

令和元年 9 月 12 日（木） 広島県医師会館 501 会議室

2) 広島県地对協 予防接種・感染症危機管理対策

専門委員会および広島県医師会 感染症委員会との合同委員会

令和元年 9 月 26 日（木） 広島県医師会館 401 会議室

Ⅱ. おわりに

コロナ禍でも耐性菌対策は重要である。世界では耐性菌が増加し、抗菌薬開発が減速しており、2050 年には耐性菌による死亡者は、がんを越して世界で年間 1,000 万人とも推定（G7 OECD report 2015）されている。AMR に対して地域全体で取り組んで行くことは意義あることと考え、本サーベイランス事業に大いに期待する。

令和元年 8 月 5 日

JANIS 協力病院
病院長 様
検査担当者様

広島県地域保健対策協議会
会長 平松 恵一
広島県地域保健対策協議会
予防接種・感染症危機管理対策専門委員会
委員長 桑原 正雄

広島県内の薬剤耐性菌サーベイランス調査（モデル調査）へのご協力について

平素より広島県地域保健対策協議会の活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、近年薬剤耐性（AMR）の世界的拡大が指摘されていますが、我が国も国を挙げて薬剤耐性（AMR）対策に取り組んでいます。その一つに国全体の感染症サーベイランス事業が以前から行われており、県内でも多くの病院が参加されております。

このたび、県地对協予防接種・感染症危機管理対策専門委員会では広島県内の JANIS 参加病院のご協力をいただき、広島県内各地域での薬剤耐性菌の動向を知る目的で薬剤耐性サーベイランス調査（モデル調査）を行うことといたしました。

本調査では、貴院の JANIS の還元データを使用させていただくことが必要です。広島県の薬剤耐性菌サーベイランスの構築のために是非ともご協力をお願い申し上げます。

つきましては、当調査への協力（JANIS 還元データの提出）の可否につきまして、別紙回答書によりご回答いただきますようお願いいたします。なお、ご協力いただける場合には事務局よりご担当者様へデータ提出方法などの詳細についてのご説明のためご連絡を差し上げますので回答書へ連絡先および担当者名をご記入ください。ご多用の所恐縮ではございますが、8 月 31 日（土）までに、お送りいただきますようお願いいたします。

当調査で集められたデータについては地域ごとの集計をいたしますので病院名は公表されないことを申し添えます。

広島県地域保健対策協議会事務局
広島県医師会 地域医療課（佐藤）
TEL 082-568-1511 FAX 082-568-2112
E-mail : chiiki@hiroshima.med.or.jp

回答票

FAX番号：082-568-2112 広島県地域保健対策協議会事務局 佐藤行

医療機関名：_____

施設長名：_____

◎薬剤耐性菌サーベイランス調査への協力を

<input type="checkbox"/> 承諾する	<input type="checkbox"/> 承諾しない
可能	不可能

いずれかにチェックを入れてください。

計画内容について

調査全体のイメージは同封の資料をご参照ください。

○必要なデータ : JANIS 還元データ

○データ提出方法 : 事務局より下記にご記入いただいた担当者様へ別途ご案内いたします。

●提出いただいたデータについては、集計を行った後に担当者へ情報還元を行います。

その際、集計値として圏域別、全県のデータを作成いたしますが、病院名は公表いたしません。

サーベイランス調査に協力いただける場合は以下の調査にかかる担当者様のご連絡先等の必要事項をご記入ください。

所属部署名	
連絡担当者名	
電話番号	
メールアドレス	

広島県地域保健対策協議会 予防接種・感染症危機管理対策専門委員会
委員長 桑原 正雄 広島県感染症・疾病管理センター／広島県医師会
委員 赤木 真治 マツダ病院
大毛 宏喜 広島大学病院感染症科
大本 崇 広島県医師会
檜山 誠也 広島県臨床検査技師会
河端 邦夫 広島県健康福祉局保健対策課
小山 祐介 福山市民病院
坂本 裕敬 広島市健康福祉局保健医療課
佐和 章弘 広島県病院薬剤師会
高蓋 寿朗 広島市立舟入市民病院
堂面 政俊 広島市医師会
中島浩一郎 庄原赤十字病院
野間裕里江 呉市医師会
松尾 裕彰 広島大学病院薬剤部
森 美喜夫 広島県医師会
横崎 典哉 広島大学病院検査部
渡邊 弘司 広島県医師会

薬剤耐性（AMR）対策ワーキンググループ

桑原 正雄 広島県感染症・疾病管理センター／広島県医師会
大毛 宏喜 広島大学病院感染症科
檜山 誠也 広島県臨床検査技師会
佐和 章弘 広島県病院薬剤師会
松尾 裕彰 広島大学病院薬剤部
森 美喜夫 広島県医師会